

# 地球環境を考える。自治体サミット

## 生駒市環境シンポジウム

「ごみ減量活動、ここまで進んだ！これからの課題！」  
「三者協働によるごみ減量活動の重要性、成果、可能性」



### 基調講演

講師:京都大学助教 **浅利美鈴氏**

### 話題提供

**上勝町、志布志市、生駒市**

平成25年**7月11日(木)**

午後1時30分～午後5時20分(開場13:00)

- 主催:地球環境を考える自治体サミット  
生駒市・生駒市環境計画推進会議
- 後援:奈良県
- 問い合わせ先:生駒市 環境経済部 環境政策課 ☎0743-74-1111 (内線375)

**生駒市  
北コミュニティセンター  
ISTAはばたき**

駐車台数:170台  
(できるだけ公共機関をご利用ください。近鉄けいはんな線  
白庭台駅から、徒歩約13分、学研北生駒駅から徒歩約15分)

**入場無料**



# 地球環境を考える自治体サミット

## 生駒市環境シンポジウム

**「ごみ減量活動、ここまで進んだ!これからの課題!**

**～三者協働によるごみ減量活動の重要性、成果、可能性～**

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムから環境への負荷が少ない持続可能な循環型社会へとライフスタイルを変更すべく、今回は「ごみ減量」をテーマとして下記のとおり環境シンポジウムを開催します。

### 第1部

### 基調講演

**ごみ減量活動、ここまで進んだ!これからの課題!**

**～三者協働によるごみ減量活動の重要性、成果、可能性～**



**講師** 浅利美鈴 氏 京都大学助教

京都大学大学院工学研究科卒。博士(工学)。京都大学環境科学センター助教。「ごみ」が研究テーマ。ごみから見た社会や暮らしのあり方を提案する。また、ごみや3R(リデュース・リユース・リサイクル)の知識を身につけ、行動してもらうことを狙いに、毎年1月(第6回は2014年1月12日)に「3R・低炭素社会検定」を実施。その実行委員長を務める。「大学の環境管理」も研究テーマで、京都大学をフィールドに、全員参加型のエコキャンパス化を目指すWEB(<http://www.eco.kyoto-u.ac.jp/>)なども構築。また、ライフワークとして市民への啓発・教育活動にも力を注ぎ、百貨店を会場とした「びっくり!エコ100選」を8年実施。その後の展開として、エネルギー問題にアクションを起こす「びっくりエコ発電所」を展開している。

### 第2部

### 話題提供

#### 上勝町

徳島県勝浦川の上流に位置する四国一小さな町。全国から注目を集める葉っぱビジネス「いろどり」で知られる。2020年までに埋め立て、焼却のごみをゼロに近づける「ゼロ・ウェイスト宣言」をし、町民一体で取り組んでいる。

#### 志布志市

鹿児島県東部、宮崎県との県境に位置する市。環境省が実施する一般廃棄物処理実態調査で、7年連続リサイクル率全国1位(「市」では)の実績を誇っている。

「混ぜればごみ 分ければ資源」の徹底に努めており、市内全世帯及び各事業所から排出される生ごみの堆肥化などに取り組んでいる。

このような志布志市の取組は「志布志モデル」として、国内はもとより海外からも注目され、平成23年度からJICA草の根技術協力事業により大洋州の廃棄物管理の支援を行っている。

#### 生駒市

市民力を活かした環境基本計画の策定など、市民との協働による環境No1自治体を目指している。

その一環として、2011年に策定した「ごみ半減プラン」に基づいて、10年後のごみの焼却量を半減させるという大きな目標に挑戦している。

地球環境を考える自治体サミットとは

環境問題に積極的に取り組む自治体の首長が集い、相互に意見を交わし、情報交換を行うとともに交流を通じて連携し、地域からの地球環境保全活動を推進・発信する。